



平成 30 年 8 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社チームスピリット
代 表 者 名 代表取締役社長 荻 島 浩 司
(コード番号：4397 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役副社長 増 山 秀 信
(TEL. 03-4577-7510)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 30 年 8 月 22 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、平成 30 年 8 月期（平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日）における当社の業績予想は、次のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円・%)

項 目	決 算 期	平成 30 年 8 月期 (予想)			平成 30 年 8 月期 第3四半期累計期間 (実績)		平成 29 年 8 月期 (実績)	
			対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率
売 上 高		1,219	100.0	57.8	886	100.0	772	100.0
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)		56	4.6	—	72	8.2	△102	—
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)		35	2.9	—	72	8.1	△96	—
当 期 (四 半 期) 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失 (△)		14	1.2	—	49	5.5	△97	—
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益 又 は 1 株 当 たり 当 期 純 損 失 (△)		2 円 09 銭			7 円 11 銭		△15 円 54 銭	
1 株 当 たり 配 当 金		0 円 00 銭			—		0 円 00 銭	

(注) 1. 当社は連結財務諸表を作成しておりません。

2. 平成 29 年 8 月期（実績）及び平成 30 年 8 月期第 3 四半期累計期間（実績）の 1 株当たり当期純損失又は 1 株当たり四半期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。平成 30 年 8 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は公募予定株式数（400,000 株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（最大 72,000 株）は考慮しておりません。

3. 平成 30 年 5 月 16 日付で、普通株式 1 株につき 200 株の株式分割を行っております。上記では、平成 29 年 8 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期（四半期）純利益又は 1 株当たり当期純損失（△）を算出しております。

【平成30年8月業績予想の前提条件】

(1) 全体の見通し

当社は「すべての人を、創造する人に。」というミッションのもと、SaaS (Software as a Service) (注) と呼ばれるクラウド上のサービスを通して、働く人と企業の働き方改革を推進する顧客サービスを事業として展開しております。当社では、企業向けに勤怠管理、就業管理、工数管理、経費精算、稟議、カレンダー、SNS等の従業員が日々利用するアプリケーションをまとめた「TeamSpirit」やユーザー企業を有償で支援するプロフェッショナルサービスを提供しております。

当社を取り巻く事業環境としては、少子高齢化により人口は減少局面を迎え、労働力人口が減少していく中で日本経済が持続的に成長を続けるためには、労働生産性の向上が必要で、特に欧米に対して生産性が低いと言われるサービス業やホワイトカラーの1人当たりの生産性を向上が不可欠となってきております。政府は平成29年3月に「働き方改革実行計画」を発表し、生産性の向上や長時間労働の是正、多様な働き方の実現などを進める方針を示しました。また、平成30年6月29日に成立した働き方改革関連法案では残業時間の上限規制や、正社員と非正規の不合理な待遇差を解消する「同一労働同一賃金」、高収入の一部専門職を労働時間の規制から外す「脱時間給制度（高度プロフェッショナル制度）」の導入を柱とし、年次有給休暇取得促進策、勤務間インターバル制度の普及促進などを盛り込むなど日本の労働慣行は大きな転換点を迎えております。今後益々健康確保措置としての労働時間管理や、テレワークの実現など、多様な働き方を支えるための新たなソリューションの重要性が増すものと考えております。

このような状況の中で、当社は「すべての人を、創造する人に。」というミッションのもと、企業の「働き方改革」を実現するために、新規顧客獲得に向けたWebやイベントを通じたマーケティング活動及び営業組織の拡充、商品の機能強化及び新商品の開発を進めております。勤怠管理、就業管理を中心として工数管理、経費精算、稟議、カレンダー、SNSといった日々の間接業務をクラウドでひとつに集約したクラウドサービスである「TeamSpirit」の契約件数は増加し、契約ライセンス数は平成30年5月末時点で129,944人、契約社数は932社となっております。

平成29年8月期においては、契約ライセンス数及び契約社数は順調に増加し一定の収益は確保したものの、当社の将来的な事業拡大に備えた開発及び営業人員等の増員及びオフィス拡張等を行ったことで、売上高772百万円、営業損失102百万円、経常損失96百万円、当期純損失97百万円を計上しております。

しかしながら、当事業年度においては引き続き新規顧客獲得に向けたWebやイベントを通じたマーケティング活動及び人員の積極的な採用に伴うコストが増加したものの、大口の新規顧客獲得等により

「TeamSpirit」の受注が拡大したことによって契約ライセンス数及び契約社数が順調に増加し、当第3四半期累計期間における売上高は886百万円となり、営業利益は72百万円、経常利益は72百万円、四半期純利益は49百万円となり黒字化を達成しております。当第4四半期会計期間においてもマーケティング活動及び人員の採用等を積極的に行い、引き続き「TeamSpirit」の契約ライセンス数及び契約社数を増加させていく方針であります。

このような状況のもと、平成30年8月の業績予想は、売上高1,219百万円（前期比57.8%増）、営業利益56百万円（前期は営業損失△102百万円）、経常利益35百万円（前期は経常損失△96百万円）、当期純利益14百万円（前期は当期純損失△97百万円）となる見込みであります。

なお、当該業績予想数値は平成29年9月から平成30年2月までは実績値、平成30年3月から平成30年8月までは予想値を使用して算出しております。

(注) SaaSとは、ソフトウェアをインターネット経由のサービスとして提供することです。

(2) 売上高

当社はSaaS事業の単一セグメントであり、ライセンスとプロフェッショナルサービスによる売上高により構成されております。売上高の予想を算出するうえで、サービス別に勘案した前提条件は以下のとおりであります。

① ライセンス

当社の主要サービス「TeamSpirit」は顧客企業に対し、使用した期間に応じたサービス料をユーザー人数分のサブスクリプション（定期購読）として課金する、リカーリングレベニュー（継続収益）型ビジネスモデルです。予算策定においては、既存契約のライセンス数に新規契約ライセンス数及びライセンス削減率を加味した月次ライセンス数に、ライセンス単価を掛け合わせることで算出した月次売上の積み上げにより、売上予算を策定しております。

新規見込ライセンス数は既存の各営業担当の過去の受注獲得実績を基に、各営業担当の獲得ライセンス見込数を設定し、人員計画に基づく営業人員数の増加を加味して策定しております。

ライセンス削減率は過去の実績ライセンス削減率を基に算出しております。

平成30年8月期は、「働き方改革」の追い風により、特に勤怠管理、就業管理領域でのシステム刷新の引き合いにより、ライセンス数及びライセンス売上は順調に増加すると想定しております。

以上により、ライセンス売上は943百万円（前期比47.3%増）を見込んでおります。

なお、当第3四半期累計期間の業績進捗につきましては、契約ライセンス数が順調に増加し、ライセンス売上高実績は675百万円となりました。

② プロフェッショナルサービス

顧客企業が「TeamSpirit」などライセンスを利用する際に、当社コンサルタントが顧客企業の導入や運用を有償で支援しております。毎月定額のサポート料をいただきながら継続的な支援をするプレミアムサポートと、一定期間（導入時など）に手厚い支援をするスポットサポートがございます。予算策定においては、既存契約企業から見込まれるプレミアムサポートの継続売上と、新規ライセンス契約企業からの期待されるプレミアムサポート及びスポットサポートの増分売上进行を勘案して策定しております。

プレミアムサポート売上は、顧客企業に対し、毎月の支援時間に応じたサポート料を毎月課金する、リカーリングレバニュー型の売上となっております。予算策定においては、既存契約企業数、新規契約企業数に基づく月次売上予算を策定しております。新規契約企業数は、新規ライセンス契約企業から見込まれるプレミアムサポート受注数を、過去実績を勘案して策定しております。

スポットサポート売上は、過去の新規ライセンス契約企業のスポットサポートの受注実績とプロジェクト規模を勘案して、月次売上予算を策定しております。

上記の月次売上予算の積み上げにより、プロフェッショナルサービスの売上予算を策定しております。平成30年8月期は、ライセンス数及び社数の増加が堅調なことから、連動してプロフェッショナルサービスも堅調に増加すると想定しております。

以上により、プロフェッショナルサービス売上は274百万円(前期比107.6%増)を見込んでおります。

なお、当第3四半期累計期間の業績進捗につきましては、大口の新規顧客獲得等によるプロフェッショナルサービスの受注が順調に推移していることにより、プロフェッショナルサービス売上高実績は210百万円となりました。

以上の結果、平成30年8月期の売上高は1,219百万円（前期比57.8%増）を予想しております。

(3) 営業利益

当社の主な費用は、顧客企業にライセンスを提供する際に必要となる「Salesforce プラットフォーム(PaaS) 利用料」、人件費、広告宣伝費等となります。

「Salesforce プラットフォーム利用料」は、過去の実績を基に、ライセンス売上に伴って発生することから、ライセンス売上の増加率を勘案して策定しております。

人件費は、主に新規顧客獲得及び新商品開発に向けて、主に営業組織及び開発組織を中心に人員数の増加を見込んでおり、増員計画人数に想定給与レンジを乗じて策定しております。

広告宣伝費は、B2B 向けクラウドビジネスと相性の良い Web マーケティング活動費を確保すると共に、人事/働き方改革関連のイベントやセミナー等のリアルマーケティング活動費を見込んでおります。

その他の費用は、人員数の増加に伴う地代家賃や IT 関連費等を過年度実績と人員数の増加率を勘案して策定しております。

以上の結果、平成30年8月期の営業利益は56百万円（前期は営業損失△102百万円）を予想しております。

(4) 営業外損益、経常利益

営業外収益は見込んでおりません。営業外費用は支払利息に加え上場関連費用を見込んでおります。

以上の結果、平成30年8月期の経常利益は35百万円（前期は経常損失△96百万円）を予想しております。

(5) 特別損益、当期純利益

特別損益は見込んでおりません。

法人税等は税務上の調整項目を加味した課税所得に法定実効税率を乗じて見積計上をしております。

以上の結果、当期純利益は、14百万円（前期は当期純損失△97百万円）を予想しております。

なお、法人税等には税効果会計の影響を加味していないため、繰延税金資産が計上された場合は、予想数値と異なる場合があります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

平成30年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年8月22日

上場会社名 株式会社チームスピリット 上場取引所 東
 コード番号 4397 URL <https://www.teamspirit.co.jp/company/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻島 浩司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 増山 秀信 TEL 03 (4577) 7510
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第3四半期の業績（平成29年9月1日～平成30年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第3四半期	886	—	72	—	72	—	49	—
29年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第3四半期	7.11	—
29年8月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成29年8月期第3四半期において、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年8月期第3四半期の金額及び前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、平成30年5月16日付で1株につき200株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が算定できないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
30年8月期第3四半期	1,098	272	272	272	24.8
29年8月期	927	204	204	204	22.0

(参考) 自己資本 30年8月期第3四半期 272百万円 29年8月期 204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	—	—	0.00	0.00
30年8月期	—	0.00	—	—	—
30年8月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年8月期の業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,219	57.8	56	—	35	—	14	—	2.09

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
2. 当社は、平成30年5月16日付で1株につき200株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年8月期3Q	6,910,000株	29年8月期	6,660,000株
② 期末自己株式数	30年8月期3Q	－株	29年8月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年8月期3Q	6,910,000株	29年8月期3Q	－株

(注) 1. 当社は、平成29年8月期第3四半期について、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年8月期第3四半期の期中平均株式数（四半期累計）については、記載しておりません。

2. 当社は平成30年5月16日付で1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数（自己株式を含む）及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、企業業績の回復に伴う株価の好調、雇用・所得の改善が継続しております。世界経済は米国経済を中心に堅調に推移しておりますが、海外の政策動向や地政学的リスクの懸念などによる国際情勢の不安定な状況は依然として続いております。

当社の経営環境としましては、日本の労働人口が減少局面を迎え、持続的な成長を続けるためにITを活用した労働生産性の向上や、企業の長時間労働の是正、従業員のライフプランやワークライフバランスを支援する人事制度及び勤務制度、クラウドソーシングや副業容認などの多様な働き方の実現等の「働き方改革」が、頻繁にメディア報道などで注目を集めております。

このような状況の中で当社は、「すべての人を、創造する人に。」というミッションのもと、企業の「働き方改革」を実現するために、平成30年2月に開催され、特別協賛として参加したイベント「CESS働き方改革実現会議2018（主催：社団法人働き方改革コンソーシアム）」での発信や、Webマーケティング活動の強化、大口の新規顧客獲得に向けた営業活動の強化、既存商品の機能強化及び次世代商品開発等に取り組むとともに、将来を見据えての海外市場調査も引き続き進めております。その結果、勤怠管理、就業管理、工数管理、経費精算、電子稟議、カレンダー、SNSといった日々の間接業務をひとつに集約したクラウドサービスである「TeamSpirit」の受注が拡大し、契約ライセンス数は平成30年5月末時点で129,944人、契約社数は932社になりました。

上記の結果、当第3四半期累計期間におけるライセンス売上高は675百万円、プロフェッショナルサービス売上高は210百万円となり、売上高は886百万円となりました。開発人員及び営業人員の採用を積極的に行い、人員拡充によるコストが増加し、営業利益は72百万円、経常利益は72百万円、四半期純利益は49百万円となりました。

なお、当社はSaaS事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は1,098百万円となり、前事業年度末と比較して171百万円の増加となりました。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,005百万円となり、前事業年度末と比較して149百万円の増加となりました。これは主に、受注拡大に伴う現金及び預金の増加120百万円があったことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は92百万円となり、前事業年度末と比較して22百万円の増加となりました。これは主に、投資その他の資産の増加20百万円によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は716百万円となり、前事業年度末と比較して134百万円の増加となりました。これは主に、契約数の増加による繰延収益の増加121百万円によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は110百万円となり、前事業年度末と比較して30百万円の減少となりました。これは、長期借入金の返済によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は272百万円となり、前事業年度末と比較して68百万円の増加となりました。これは、新株予約権の行使による資本金の増加9百万円及び資本剰余金の増加9百万円、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加49百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日開示いたしました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。なお、当該業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	766,714	886,795
売掛金	6,775	16,767
前渡金	64,378	85,367
その他	18,968	17,257
貸倒引当金	△117	△290
流動資産合計	856,719	1,005,896
固定資産		
有形固定資産	15,161	17,348
無形固定資産	146	81
投資その他の資産		
その他	55,142	75,413
貸倒引当金	△39	△20
投資その他の資産合計	55,102	75,393
固定資産合計	70,410	92,823
資産合計	927,130	1,098,720

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,592	5,709
1年内返済予定の長期借入金	31,544	—
未払法人税等	4,362	30,454
繰延収益	440,772	561,834
賞与引当金	9,844	2,796
その他	89,828	115,390
流動負債合計	581,944	716,185
固定負債		
長期借入金	140,791	110,000
固定負債合計	140,791	110,000
負債合計	722,735	826,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	463,050	472,550
資本剰余金	453,050	462,550
利益剰余金	△711,705	△662,565
株主資本合計	204,394	272,534
純資産合計	204,394	272,534
負債純資産合計	927,130	1,098,720

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成30年5月31日)
売上高	886,265
売上原価	346,355
売上総利益	539,910
販売費及び一般管理費	467,099
営業利益	72,810
営業外収益	
業務受託収入	370
その他	54
営業外収益合計	424
営業外費用	
支払利息	939
その他	136
営業外費用合計	1,076
経常利益	72,158
税引前四半期純利益	72,158
法人税、住民税及び事業税	23,018
法人税等合計	23,018
四半期純利益	49,140

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。